

第62回京都コンテストコンテストレビュー

2018年2月3日(土) 20:00~2月4日(日) 16:00

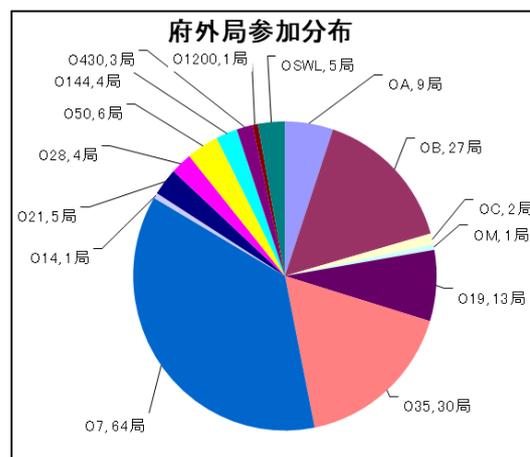
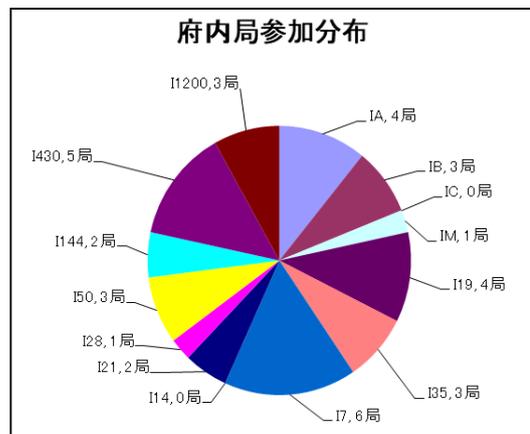
京都コンテストは1.9MHzから5600MHzと幅広く各バンドで運用時間が区切られているため、どのような時間帯でどのバンドに参加するかが入賞の鍵になります。このコンテストレビューでは、今回及び過去10年間に参加された各局のサマリーやログ情報を基に参加者の動向や統計的な資料を示し、また入賞の方々についてはより詳しい分析を行いました。また入賞の各局からは、コンテスト参加時のノウハウ等をコンテスト参戦記として寄稿して頂きました。

1. ログ提出局数の分布について

第62回京都コンテストでは有効な府内局のログ提出(チェックログを含む)は37局(昨年比-18局)で、近年の中でも低調でした。今年もここ数年同様、府内局2400MHz、5600MHz、SWL部門はエントリー局がなく、いつもは参加があるマルチC部門、14MHz部門も参加がありませんでした。

今年は府内局についてはマルチC部門、マルチオペ部門、14/28MHz部門、また府外局はマルチオペ部門、14MHz部門、1200MHz部門、が比較的入賞がしやすかったと思います。

参加部門	参加部門コード	参加局数
府内局マルチA部門	IA	4
府内局マルチB部門	IB	3
府内局マルチC部門	IC	0
府内局マルチマルチ部門	IM	1
府内局1.9MHz部門	I19	4
府内局3.5MHz部門	I35	3
府内局7MHz部門	I7	6
府内局14MHz部門	I14	0
府内局21MHz部門	I21	2
府内局28MHz部門	I28	1
府内局50MHz部門	I50	3
府内局144MHz部門	I144	2
府内局430MHz部門	I430	5
府内局1200MHz部門	I1200	3
府外局マルチA部門	OA	9
府外局マルチB部門	OB	27
府外局マルチC部門	OC	2
府外局マルチマルチ部門	OM	1
府外局1.9MHz部門	O19	13
府外局3.5MHz部門	O35	30
府外局7MHz部門	O7	64
府外局14MHz部門	O14	1
府外局21MHz部門	O21	5
府外局28MHz部門	O28	4
府外局50MHz部門	O50	6
府外局144MHz部門	O144	4
府外局430MHz部門	O430	3
府外局1200MHz部門	O1200	1
府外局SWL部門	OSWL	5



その他 チェックログ 失格者 5ログ

2. コンテストログ提出局推移

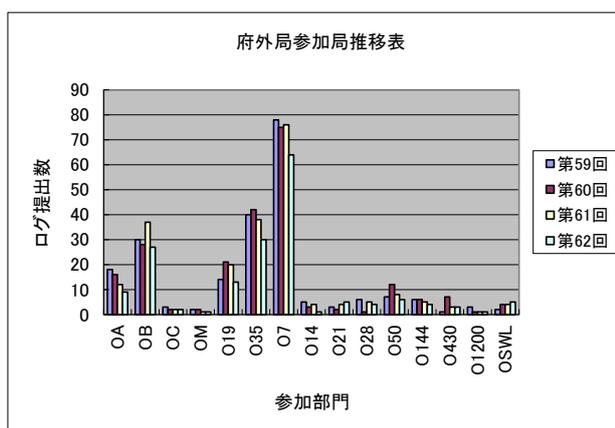
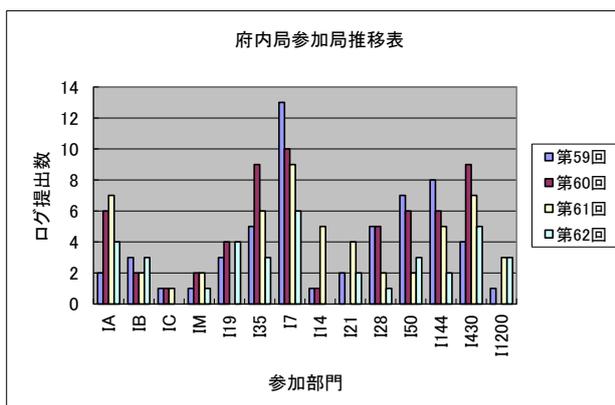
ここ数年の中でも最も参加局が多かった第60回の296ログですが、今年のログ提出数217ログとなりました。また、チェックログを除くと、全体では212局で昨年と比較して63ログ減少しました。府内局では37局で昨年と比較して18ログ減少しました。府外局では175局で昨年と比較して45ログ減少しました。なお、今年度は関西ハムシンポジウムと日程が重なったため、京都コンテストへの参加局が大きく減少したのではないかと推測しています。

今年の参加局の特徴として、昨年と比較すると府内局では、参加局が増加した部門は、マルチB部門、1.9MHz部門、50MHz部門の3部門でした。

また減少した部門は10部門で、その中でも参加局がなかった、もしくは3局以上減少したのはマルチA部門、マルチC部門、3.5MHz部門、7MHz部門、14MHz部門、144MHz部門、の7部門でした。

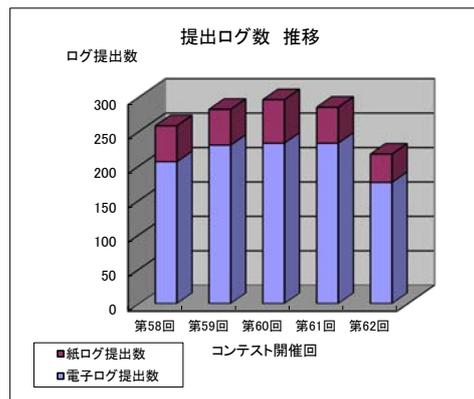
府外については、21MHz部門、SWL部門は増加したものの、それ以外の部門は現状維持、もしくは減少しました。次年度も、このコンテストレビューを参考に、入賞できるよう頑張ってくださいと思います。

参加部門	部門コード	第59回	第60回	第61回	第62回	
府内局	マルチA部門	IA	2	6	7	4
	マルチB部門	IB	3	2	2	3
	マルチC部門	IC	1	1	1	0
	マルチオベ部門	IM	1	2	2	1
	1.9MHz部門	I19	3	4	0	4
	3.5MHz部門	I35	5	9	6	3
	7MHz部門	I7	13	10	9	6
	14MHz部門	I14	1	1	5	0
	21MHz部門	I21	2	0	4	2
	28MHz部門	I28	5	5	2	1
	50MHz部門	I50	7	6	2	3
	144MHz部門	I144	8	6	5	2
	430MHz部門	I430	4	9	7	5
	1200MHz部門	I1200	1	0	3	3
	小計		56	61	55	37
	府外局	マルチA部門	OA	18	16	12
マルチB部門		OB	30	28	37	27
マルチC部門		OC	3	2	2	2
マルチオベ部門		OM	2	2	1	1
1.9MHz部門		O19	14	21	20	13
3.5MHz部門		O35	40	42	38	30
7MHz部門		O7	78	75	76	64
14MHz部門		O14	5	3	4	1
21MHz部門		O21	3	2	4	5
28MHz部門		O28	6	1	5	4
50MHz部門		O50	7	12	8	6
144MHz部門		O144	6	6	5	4
430MHz部門		O430	1	7	3	3
1200MHz部門		O1200	3	1	1	1
SWL部門		OSWL	2	4	4	5
小計		218	222	220	175	
他	チェックログ他	8	13	10	5	
合計		282	296	285	217	



ログ提出方法の種別は以下の通りです。これを見ると年々、紙ログから電子ログへの移行が進んでいるものの昨年より横ばい状態です。平成26年(2014年)よりJARLのコンテストは、紙によるログ・サマリーの提出は手書きのみに限定されましたが、京都コンテストはしばらくの間、紙ログでの提出を受け付けます。また、昨年度よりJARLの電子ログフォーマットの変更があり、R1.0での提出が105局、R2.0での提出が66局となりました。

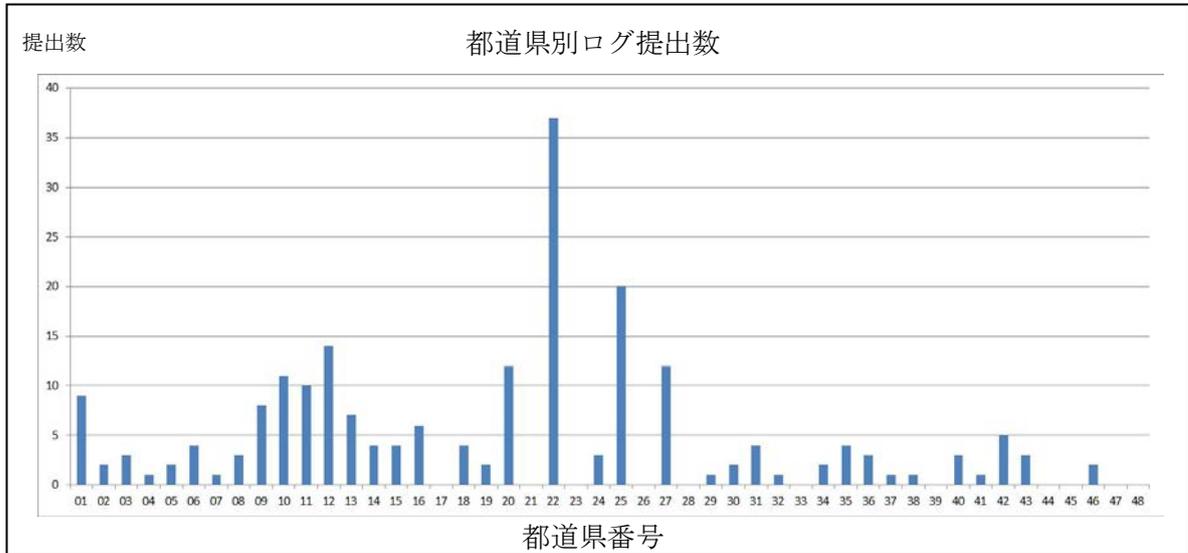
	第58回	第59回	第60回	第61回	第62回
電子ログ提出数	206	230	233	233	176
紙ログ提出数	52	52	63	52	41



3. 都道府県別ログ提出数の詳細

都道府県別ログ提出局数の詳細は以下のとおりです。

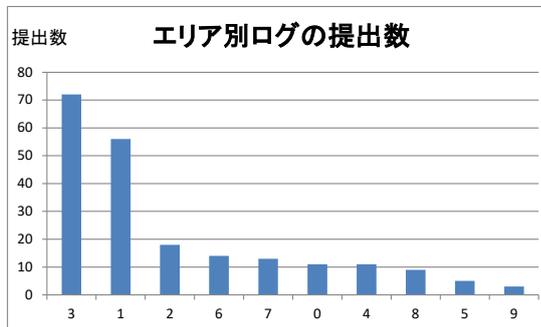
府内局を除くとV/UHFの局数も加算される関西近県がやはり多いようです。大阪、兵庫、奈良が多く、去年は参加局がありました滋賀県、和歌山県は、今年は提出がありませんでした。次の1エリアでは、千葉、東京、神奈川、埼玉の順で、また2エリアの愛知、静岡県、岐阜、6 エリアは長崎県、福岡県、熊本県、7 エリアは宮城県のログ提出が多いようです。各局有り難うございます。



4. エリア別ログ提出数の詳細

エリア別ログ提出局数の詳細は以下のとおりです。

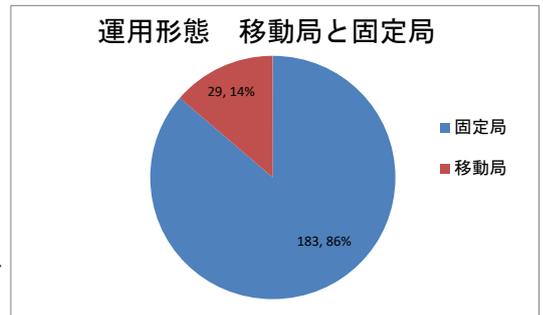
今回の傾向的は3エリアを除くと、1エリアが多く、2エリア、6エリア、次に7エリアが多くなっています。昨年同様、10局越えとなったエリアは、10エリア中7エリアとなりました。今年は昨年と比較すると、6エリアが2エリアを抜き、3位となりました。また、4エリアの参加局数が大きくダウンしています。ログ提出者のコメントでは、全体的にコンディションが良くなかったとの感想が多く、これも参加局数減少の一因ではないかと推測されます。



5. 運用形態について

運用形態は以下のとおりです。

今年は固定局が全体の86%、移動局が14%で、雪の影響も少なく例年に比べ移動局が多くなりました。冬場のコンテストは天候に左右され易いため、移動局に比べ固定局が大半を占めています。その分、V/UHF等高い山に移動すれば入賞できる可能性が高くなりますが、天候に留意し、遭難等事故のないように気をつけてください。



6. 入賞者のログ分析

<府内局>

(1)ログの合計得点詳細

参加部門	コールサイン		局数	得点	マルチ	合計
府内局シングルオペマルチバンドA部門	JR2MIO/3		350	440	221	97,240
		(内訳)				
		バンド	局数	得点	マルチ	
		1.9	48	56	26	
		3.5	66	79	44	
		7	110	120	54	
		14	11	16	12	
		21	10	14	11	
		28	15	21	10	
		50	26	38	22	
		144	35	50	18	
		430	23	35	17	
		1200	6	11	7	
参加部門	コールサイン		局数	得点	マルチ	合計
府内局シングルオペマルチバンドB部門	JJ2DWL/3		224	250	125	31,250
		(内訳)				
		バンド	局数	得点	マルチ	
		1.9	49	58	30	
		3.5	77	87	48	
7	98	105	47			
参加部門	コールサイン	バンド	局数	得点	マルチ	合計
府内局マルチオペマルチバンド部門	JA3YQD		253	295	157	46,315
		(内訳)				
		バンド	局数	得点	マルチ	
		1.9	62	74	35	
		3.5	79	87	41	
		7	55	58	32	
		14	17	20	16	
		21	8	11	8	
		28	14	18	9	
		50	11	16	8	
144	7	11	8			
参加部門	コールサイン	バンド	局数	得点	マルチ	合計
府内局シングルオペ1.9MHz部門	JF3PGW	1.9	40	51	28	1,428
府内局シングルオペ3.5MHz部門	JK3LZI	3.5	76	86	39	3,354
府内局シングルオペ7MHz部門	JS3OSI	7	85	92	40	3,680
府内局シングルオペ21MHz部門	JL3YGS/3	21	20	27	16	432
府内局シングルオペ28MHz部門	JH4JAE/3	28	4	8	6	48
府内局シングルオペ50MHz部門	JH3FYC/3	50	22	34	16	544
府内局シングルオペ144MHz部門	JH3QNH	144	40	57	19	1,140
府内局シングルオペ430MHz部門	JL3YGS/3	430	30	47	21	987
府内局シングルオペ1200MHz部門	JN1GYM/3	1200	5	9	6	54

今年の府内局の入賞者が QSO できていないマルチは、次のとおりです。

京都府内は、福知山市、舞鶴市、宇治市、宮津市、向日市、京田辺市、船井郡で7マルチ、8エリアは、宗谷、川上、根室、檜山、渡島、その他は山梨、沖縄です。特に、ここ11年間は日高との QSO の記録がありませんでしたが、今年は JA8GMH との QSO が成立しています。京都府内のマルチについて、昨年QRVがなかった舞鶴市、船井郡については、今年も入賞者の QSO の記録がありませんでした。しかし、提出されたログでは、昨年も参加されていました舞鶴市の JA3YOF の QRV が記録されています。

福知山市、宇治市、宮津市、向日市、京田辺市、船井郡については他の提出されたログにも QSO の記録がありませんでした。来年参加される皆さんは上記のQRVの可能性が少ない地域が聞こえてきましたら、確実にマルチ獲得できるように頑張ってください。

<府外局>

(3)ログの合計得点詳細

参加部門	コールサイン		局数	得点	マルチ	合計
府外局シングルオペマルチバンドA部門	JA3GJQ		65	63	83	5,229
		(内訳)				
		バンド	局数	得点	マルチ	
		1.9	7	7	8	
		3.5	11	11	14	
		7	11	11	13	
		14	3	3	5	
		21	4	4	5	
		28	5	4	6	
		50	10	9	13	
		144	7	7	10	
	430	7	7	9		
参加部門	コールサイン		局数	得点	マルチ	合計
府外局シングルオペマルチバンドB部門	JG1CFO		34	34	41	1,394
		(内訳)				
		バンド	局数	得点	マルチ	
		1.9	8	8	8	
		3.5	10	10	12	
		7	16	16	21	
参加部門	コールサイン		局数	得点	マルチ	合計
府外局シングルオペマルチバンドB部門	JA1CP		29	29	36	1,044
		(内訳)				
		バンド	局数	得点	マルチ	
		1.9	7	7	8	
		3.5	9	9	11	
	7	13	13	17		

参加部門	コールサイン		局数	得点	マルチ	合計
府外局シングルオペマルチバンドC部門	JA7LLL		16	16	19	304
		(内訳)				
		バンド	局数	得点	マルチ	
		1.9	5	5	6	
		3.5	7	7	7	
		7	4	4	6	
参加部門	コールサイン	バンド	局数	得点	マルチ	合計
府外局マルチオペマルチバンド部門	JA2YGP		2	2	4	8
		(内訳)				
		バンド	局数	得点	マルチ	
		14	1	1	2	
		28	1	1	2	
参加部門	コールサイン	バンド	局数	得点	マルチ	合計
府外局シングルオペ1.9MHz部門	JA0DVE	1.9	8	8	8	64
府外局シングルオペ1.9MHz部門	JE3VRJ	1.9	8	8	8	64
府外局シングルオペ3.5MHz部門	JE3VRJ	3.5	14	14	18	252
府外局シングルオペ3.5MHz部門	JR6CSY	3.5	10	10	13	130
府外局シングルオペ7MHz部門	JJ1HFX	7	10	10	14	350
府外局シングルオペ7MHz部門	JH7OUW	7	15	15	20	300
府外局シングルオペ7MHz部門	JM6EKY	7	15	15	19	285
府外局シングルオペ14MHz部門	JJ5LLP	14	1	1	2	2
府外局シングルオペ21MHz部門	JR3AAZ	21	5	5	8	40
府外局シングルオペ28MHz部門	JR3AAZ	28	6	6	8	48
府外局シングルオペ50MHz部門	JG3WDN	50	9	9	12	108
府外局シングルオペ144MHz部門	JN3ANO	144	6	6	10	60
府外局シングルオペ430MHz部門	JH3DYD	430	6	6	7	42
府外局シングルオペ1200MHz部門	JA3IUB	1200	4	4	5	20
府外局SWLマルチバンド部門	JA7AMK/SWL	SWL	2	2	2	4

(4) 第一マルチ詳細

府内局同様、府外局入賞者のログについて、地域マルチを分析したものです。昨年の府外局入賞者で QSO できていない地域は福知山市、綾部市、向日市、南丹市、久世郡、船井郡、山科区の7つとなっていました。今年も、福知山市、宇治市、宮津市、向日市、京田辺市、久世郡、船井郡、与謝郡、南区、伏見区、山科区の11市郡区となっています。また入賞局は QSO できていないものの、久世郡 JP3MCH、南区 JQ3TAN、JF3ITH、JI3WWZ、JH3QNH、伏見区 JA3FSN、JS3RNI、山科区 JM3NRO での運用記録が E-Mail で提出いただきました電子ログから確認されています。なお、福知山市、宇治市、宮津市、向日市、京田辺市、船井郡、与謝郡については QRV が確認できませんでした。

京都コンテストにおいては、与謝野郡、綾部市、福知山市、船井郡は特にレアな地域となっており、QRV数が限られていますので、QRVしている局を見つけた場合は、確実にQSOLしておきたい地域です。府内局は全地域運用できるよう積極的なQRVよろしくお願いします。

7. 過去の入賞者の得点推移

第52回(2008年)から第62回(2018年)までの各部門第1位の得点の推移を今回まとめてみました。第55回(国民文化祭の記念局による特別ルール)と2016年は京都コンテスト60周年記念の特別ルールのため例年と比較できない得点となっていますが、入賞するための目安の得点としてください。

(1) 府内入賞局と入賞局の得点推移表及び推移グラフ

	第52回 (2008年)	第53回 (2009年)	第54回 (2010年)	第55回 (2011年)	第56回 (2012年)	第57回 (2013年)	第58回 (2014年)	第59回 (2015年)	第60回 (2016年)	第61回 (2017年)	第62回 (2018年)	平均得点
IA	111,652 (J13JWV)	170,632 (JR3E01/3)	212,506 (JR3E01/3)	197,120 (J13JWV)	143,321 (J13JWV)	153,882 (J13JWV)	189,571 (J13JWV)	160,992 (J13JWV)	202,019 (J13JWV)	195,160 (JR2M10/3)	97,240 (JR2M10/3)	159,257
IB	49,077 (JK3HFN/3)	36,084 (JK3HFN/3)	72,333 (J13JWV)	49,067 (JH4PUL/3)	53,067 (JA3QOS)	53,760 (JK3HFN/3)	58,247 (JK3HFN/3)	47,950 (JK3HFN/3)	59,432 (JK3HFN/3)	56,794 (JK3HFN/3)	31,250 (JJ2DWL/3)	50,358
IC	14,472 (JA9XAT/3)	19,550 (J16DUE/3)	22,113 (J13COSH)	35,226 (J13COSH)	15,826 (JJ2DWL/3)	18,094 (J13COSH)	16,401 (J11JRE/3)	14,060 (J13COSH)	20,816 (JA9XAT/3)	3,741 (JF3LEO)	—	18,040
IM	560 (JA3YKE)	1,350 (JA3YKE)	83,952 (JL3YGS/3)	10,366 (JA3YKE)	110,019 (JA3YQD)	131,274 (JA3YQD)	190,530 (JA3YQD)	69,190 (JA3YQD)	1,624 (JA3YQD)	135,024 (JA3YQD)	46,315 (JA3YQD)	70,928
119	1,856 (J16DUE/3)	2,584 (J13JWV)	2,470 (JL3JRY/3)	2,628 (JH3BUM)	1,008 (JH3QNH)	1,953 (JK2XXK/3)	2,516 (JH4PUL/3)	1,352 (JH4PUL/3)	2,800 (JH4PUL/3)	—	1,428 (JF3PGW)	1,916
135	5,610 (JF3DOK)	7,089 (JL3JRY/3)	7,875 (JH3QNH)	3,608 (JK3LZ1)	6,625 (JF3DOK)	7,280 (J16DUE/3)	7,638 (JK3LZ1)	6,837 (JF3DOK)	6,820 (JF3DOK)	7,467 (JK3LZ1)	3,354 (JK3LZ1)	6,458
17	11,590 (JF3DOK)	6,201 (JF3DOK)	8,344 (JA3ETD)	10,858 (JK3LZ1)	11,392 (JF3DOK)	12,648 (JF3DOK)	11,277 (JR3R1Y/3)	10,974 (JN3XEZ)	12,660 (JP2XYT/3)	12,090 (JP1LJH/3)	3,680 (JS3OS1)	10,491
114	77 (JH3QNH)	154 (JR3XEX)	850 (JF3LGC)	760 (JL3CRS)	640 (JL3CRS)	560 (JL3CRS)	1,204 (JA3QOS)	1,008 (JA3QOS)	216 (JN3XEZ)	1,400 (JA3QOS)	—	639
121	315 (JN3RAZ/3)	600 (JA3ETD)	966 (JF3LGC)	1,512 (JL3CRS)	1,269 (JL3CRS)	72 (JH3XGU/3)	1,925 (JA3QOS)	168 (JP2XYT/3)	—	646 (J16DUE/3)	432 (JL3YGS/3)	675
128	656 (JL3CRS)	493 (JA3ETD)	700 (JN3XEZ)	1,008 (JN3XEZ)	651 (JN3XEZ)	666 (JL3CRS)	1,035 (J16DUE/3)	1,222 (JA3QOS)	330 (JN3XEZ)	1,704 (J13WCV)	48 (JH4JAE/3)	731
150	2,294 (J13LYG/3)	2,739 (JS3UAB/3)	2,730 (JA3QOS)	3,589 (J13LYG/3)	2,448 (JH3FYG/3)	2,250 (JH3FYG/3)	2,336 (JH3FYG/3)	2,343 (JS3UAB/3)	2,752 (JS3UAB/3)	464 (JJ3RDH)	544 (JH3FYG/3)	2,177
I144	6,048 (J030WY/3 _{※1})	2,958 (JN3RAZ)	3,640 (J030WY/3)	4,212 (J030OP/3)	2,044 (JN3RAZ/3)	2,706 (J03URN/3)	1,728 (J03GBD/3)	2,400 (JR3FOS)	3,040 (JN3RAZ/3)	1,917 (JR3FOS)	1140 (JH3QNH)	2,895
I430	1521 (J030WX _{※1})	1,120 (JF4CAD/3)	1,102 (JF4CAD/3)	1,800 (JG3DOR/3)	578 (JA3M1B)	988 (JF4CAD/3)	1967 (JP3DVB/3 _{※2})	816 (J16DUE/3)	2,950 (JP3LWI/3 _{※3})	1,311 (J16DUE/3)	987 (JL3YGS/3)	1,313
I1200	60 (JH3BUM)	264 (JH3BUM)	322 (JH3XGU/3)	364 (JH3XGU/3)	140 (JH3XGU/3)	286 (JH3XGU/3)	390 (JA9XAT/3)	152 (JN1GYM/3)	—	54 (JP2XYT/3)	54 (JN1GYM/3)	177

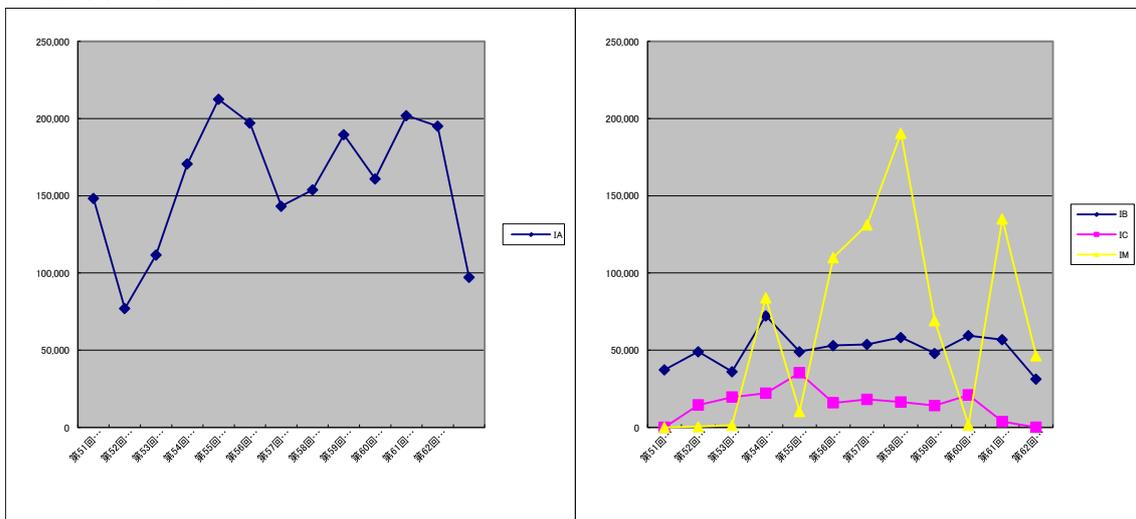
※1 ニューカマー係数が3

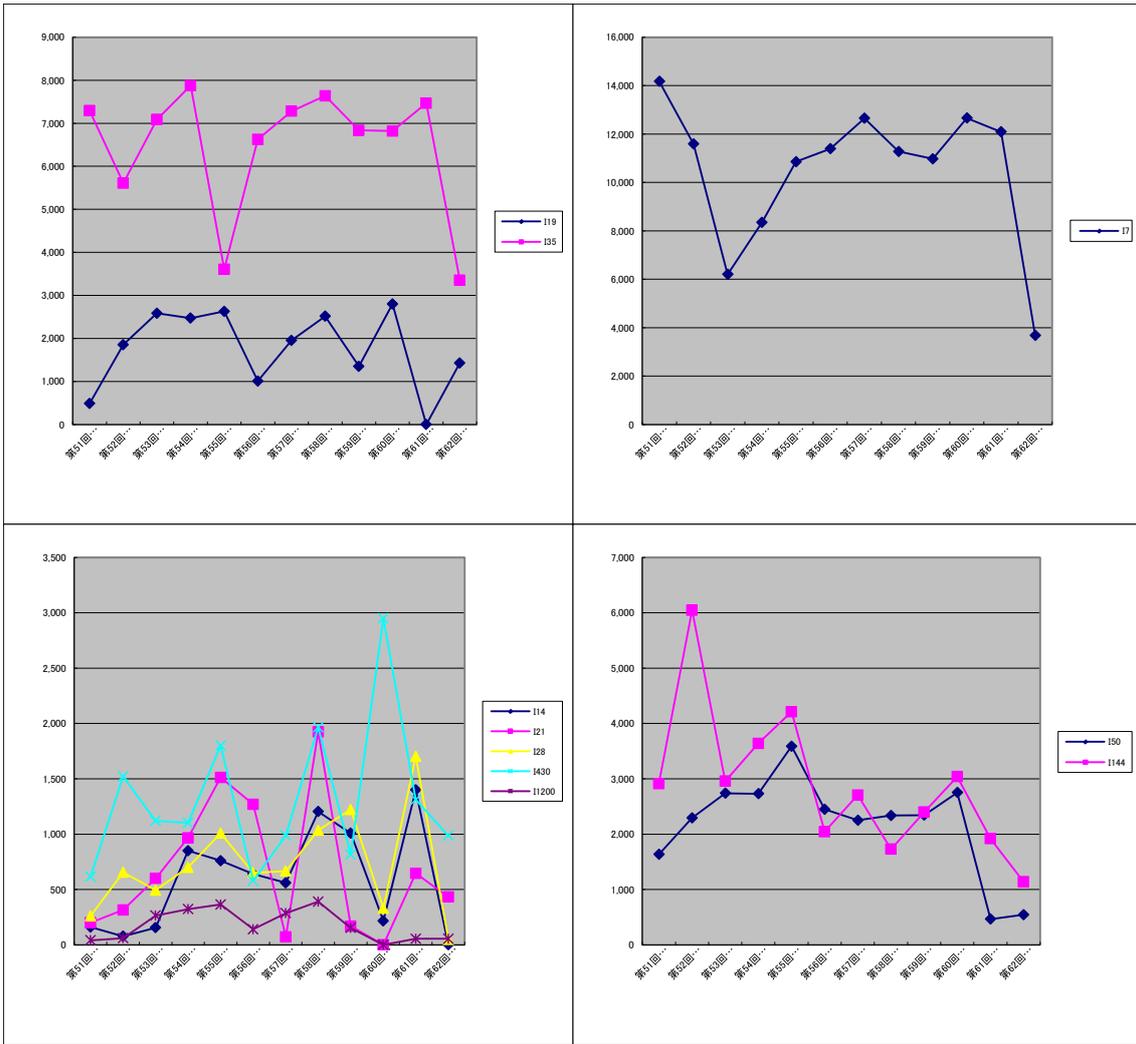
※2 ニューカマー係数が2.5(小数点以下を四捨五入)

※3 ニューカマー係数が1.5(小数点以下を四捨五入)

IA部門は昨年よりJR2M10/3が1位入賞をキープしています。第60回まで首位をキープしていましたが、コンテストの参加が確認できませんでした。またIB部門は昨年までJK3HFN/3が5年連続で入賞していましたが、今年はJJ2DWL/3が、初めて首位となりました。比較すると、得点ではHFNが10点上回っていたものの、マルチで5マルチの差があり、DWLが昨年の雪辱を果たす結果となりました。来年はどのような戦いになるのでしょうか。IC部門では、残念ながら参加者がなく、よって入賞者もありません。今年、参加者がいなかった部門は、来年、参加者が集中する可能性があります。来年はどの部門が入賞しやすいのでしょうか。IM部門はJA3YQDが2年連続で1位を獲得しました。その他のバンドで1位と2位が僅差だったのは、7MHzのJS3OS1とJA4JY/3の26点差です。来年も入賞頑張ってください。

<各部門の得点の変化>





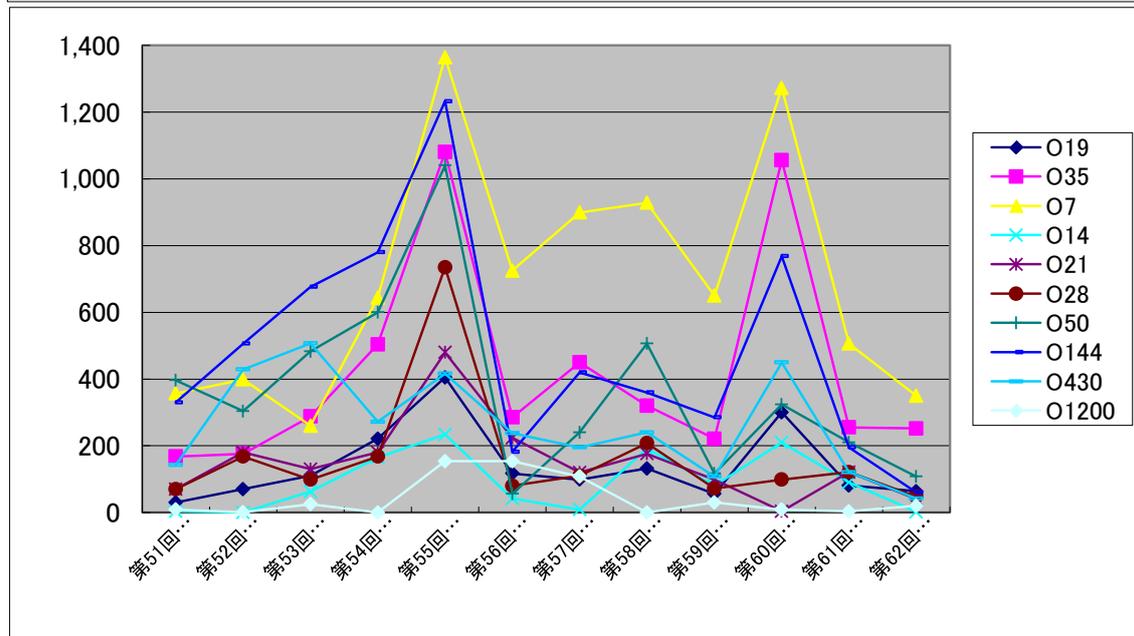
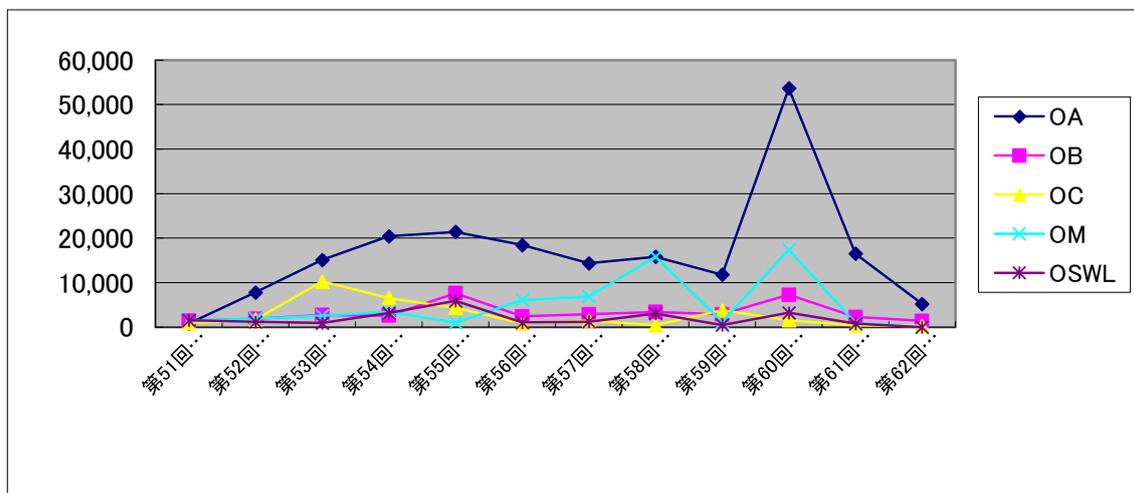
(2) 府外入賞局と入賞局の得点推移表及び推移グラフ

	第52回 (2008年)	第53回 (2009年)	第54回 (2010年)	第55回 (2011年)	第56回 (2012年)	第57回 (2013年)	第58回 (2014年)	第59回 (2015年)	第60回 (2016年)	第61回 (2017年)	第62回 (2018年)	平均得点
OA	7,802 (JA3RSJ)	15,120 (JA3RSJ)	20,436 (JA3RSJ)	21,423 (JE3VRJ)	18,450 (JR3SZZ/3)	14,351 (JE3VRJ)	15,840 (JA3RSJ)	11,800 (JE3VRJ)	53,650 (JE3VRJ)	16,506 (JE3VRJ)	5,229 (JA3BQJ)	16,782
OB	1,880 (JA3HZR)	2,750 (JA3HZR)	2,585 (JA3HZR)	7,630 (JR2AWS)	2,430 (JR2AWS)	2,907 (JA5CBU)	3,402 (JR2AWS)	2,900 (JA3HZR)	7,260 (J81GFO)	2,295 (JA3HZR)	1,384 (J81GFO)	3,239
OC	1,720 (JH3BYX)	10,266 (J03PSJ/3※1)	6,545 (JA9XAT/3)	4,374 (JL3WXS/3)	864 (JH3SKG)	1,517 (JA3AER)	440 (JL3WXS)	3,780 (JA9XAT/3)	1,568 (JA3IAS)	420 (JR3GBX)	304 (JA7LLL)	2,727
OM	1,932 (JL3YJL/3)	2,597 (JL3YJL/3)	3,472 (JL3YJL/3)	1,028 (JA2Y8P)	6,090 (JL3YJL/3)	6,888 (JA3YAA/3)	15,840 (JA3YAA/3)	1,200 (JA2Y8P)	17,390 (JJ2YKZ)	910 (JA2Y8P)	8 (JA2Y8P)	4,906
019	70 (JA4GWE)	156 (JA4GWE)	221 (JA4GWE)	405 (JA4GWE)	117 (JA4GWE)	99 (JA4GWE)	132 (JA4GWE)	56 (JJ5LLP)	300 (JA4GWE)	81 (JA6GCE)	64 (JA0DVE)	140
035	176 (JR2VWY)	288 (JH4FUF)	504 (JR3AAZ)	1,080 (JH4FUF)	300 (JR3AAZ)	450 (JH1HZV)	320 (JR8BWW/1)	221 (JR1MEG/1)	1,056 (JH4FUF)	255 (JH4FUF)	252 (JE3VRJ)	421
07	399 (7N2JT)	260 (JE6DND)	644 (JK2BAP)	1,364 (JF2WWE)	725 (JF2WWE)	899 (JE6DND)	928 (J82MIZ)	650 (J82MIZ)	1,272 (J82MIZ)	506 (JR6GSY)	350 (JJ1HFX※2)	696
014	—	63 (J03DDD)	165 (J03DDD)	234 (J03DDD)	42 (JW2RUV)	9 (J03DDD)	192 (JR8QFG)	80 (JK8PBO)	210 (JK8PBO)	90 (JK3NSD)	2 (JJ5LLP)	99
021	180 (JA3IUB)	130 (JR3AAZ)	180 (JR3AAZ)	480 (JE2HXL/2)	224 (JR3AAZ)	120 (JA3IUB)	176 (JR3AAZ)	99 (JR3AAZ)	4 (JH3DMQ)	121 (JR3AAZ)	40 (JR3AAZ)	152
028	168 (JJ3TTH)	99 (JJ3TTH)	168 (JA3IUB)	735 (JA3IUB)	80 (JA3IUB)	110 (JA3IUB)	208 (JR3AAZ)	72 (JA3IUB)	99 (JR3AAZ)	121 (JR3AAZ)	48 (JR3AAZ)	165
050	304 (JA3WDL)	483 (J03DDD)	600 (JM1TDG/3)	1,040 (J83LDD/3)	56 (JA3EVA)	240 (JA3EVA)	506 (J03UBN/3)	117 (JJ2XIU)	324 (JA3HZR)	210 (J83WDN)	108 (J83WDN)	365
0144	506 (J03AYN)	676 (J03AYN)	780 (J03AYN)	1,232 (J83LDD/3)	182 (JN3ANO)	420 (JN3ANO)	360 (J03UBN/3)	285 (JN3ANO)	768 (JN3ANO)	195 (JN3ANO)	60 (JN3ANO)	483
0430	429 (J03LTH※1)	507 (J03RGZ/3※1)	272 (J63DOR/3)	416 (JF3LCH/3)	238 (JF2OHQ/3)	195 (JF2OHQ/3)	240 (JF2OHQ/3)	108 (JF2OHQ/3)	450 (J63DOR/3)	121 (JA3GES)	42 (JH3DYD)	263
01200	1 (JH4PUL/3)	25 (JL3RTA)	—	154 (JA3XJT/3)	49 (JR3CNO)	108 (JA3XJT/3)	—	30 (JF2OHQ/3)	9 (JA3XJT/3)	4 (JE20TW/3)	20 (JA3IUB)	51

- ※1 ニューカマー係数が 3
- ※2 ニューカマー係数が 2.5(小数点以下を四捨五入)
- ※3 ニューカマー係数が 1.5(小数点以下を四捨五入)

今年の OA 部門の 1 位は昨年まで 2 位でした JA3GJQ でした。昨年まで 3 年連続 1 位でした JE3VRJ は、初日のみの参加で 3.5MHz 部門へのログ提出でとなりました。また OB 部門の 1 位は JG1CFO で、首位返り咲きです。昨年 1 位の JA3HZR は、ご参加いただいたものの、サービスのみに残ったようです。2 位の JA1CP と比較すると、その差は合計点で 350 点、局数差 5 局、マルチ差は 5 マルチでした。両者の選択したバンド構成は 1.9、3.5、7MHz と同じでしたが、JG1CFO が、1.9 MHz で 1 局、3.5 MHz で 1 局、7MHz が 3 局上回りました。その他のバンドで入賞局と、惜しくも入賞を逃した局が僅差だったのは、1.9MHz の JA0DVE、JE3VRJ、JJ5LLP (64 点の同点でありながら終了時刻の差) です。京都府内局の参加局が少ない分、いかに早く府内局を見つけ確実に QSO を行うかが勝敗の分け目になります。来年もぜひ入賞目指して頑張ってください。

<各部門の得点の変化>



8. ログ記入上の注意

折角ログを提出して頂いても、失格になっては大変残念です。これまでで、一番多かった失格理由は、送信コンテストナンバーが正しく記載されていないことによるものでした。以下、失格の事例です。ログ提出の際は、今一度、誤りがないかご確認ください。

1. 都道府県の送信マルチが記載されていない。 599_HN
2. 都道府県の送信マルチが都道府県ナンバーになっている。 59925HN
3. 紙ログで RST が先頭の局のみ記載。最後の局まで記載されていない。

また、京都コンテストは、他のコンテストと異なり、1つの局が複数の部門にエントリーすることが可能です。通常JARLでは最新版の提出ログをエントリー部門としています。京都コンテストでは訂正やエントリー部門の変更で3部門以上のログを送信した場合は、最新の提出ログのコメント欄に必ず、自分のエントリーする部門を記載してください。どの部門にエントリーするか記載がない場合は、失格になる場合があります。

また、サマリーシートとログシートの整合性が取れていないログ提出が見られました。サマリーシートは、ログシートがサマリー(集計)されたシートと考えますので、サマリーシート、ログシートの内容が異なる場合、京都コンテストでは審査することができません。

サマリーシートに記載されていないバンドの交信は、ログシートに記載しない、もしくは記載した場合は、コメント欄にはエントリー以外のログはチェックログであることを明示し、必ず得点は「0」、マルチ欄は空白で提出を行ってください。

(正しい記入例 1)

```
<CATEGORYCODE>035</CATEGORYCODE>
<CATEGORYNAME>府外局シングルオペ 3.5MHz</CATEGORYNAME>
<CALLSIGN>JH1●▲■</CALLSIGN>
<SCORE BAND=3.5MHz>14, 28, 14</SCORE>
<SCORE BAND=TOTAL>14, 28, 14</SCORE>
<TOTALSCORE>392</TOTALSCORE>
:
<LOGSHEET TYPE=HLTST7.6.0>
MM/DD HH:MM CallSign Rst Sent Rst Rcv Multi P MHz Mode
-----
02/02 20:33 JA4ABC/3 599 TKHT 599C11HK C11 1 3.5 CW
02/02 20:40 JA3ABC 599 TKHT 599C09AH C09 1 3.5 CW
02/02 20:44 JI3ABC/3 599 TKHT 599C09452 C09452 1 3.5 CW
:
02/02 20:51 JA3YAB 599 TKHT 599G08632 G08632 1 3.5 CW
</LOGSHEET>
```

(正しい記入例 2)

```
<CATEGORYCODE>035</CATEGORYCODE>
<CATEGORYNAME>府外局シングルオペ 3.5MHz</CATEGORYNAME>
<CALLSIGN>JH1●▲■</CALLSIGN>
<SCORE BAND=3.5MHz>14, 28, 14</SCORE>
<SCORE BAND=TOTAL>14, 28, 14</SCORE>
<TOTALSCORE>392</TOTALSCORE>
:
```

<COMMENTS>7MHzはチェックログとして記載します。</COMMENTS>

```
<LOGSHEET TYPE=HLTST7.6.0>
MM/DD HH:MM CallSign Rst Sent Rst Rcv Multi P MHz Mode
-----
02/02 20:33 JA4ABC/3 599 TKHT 599C11HK C11 1 3.5 CW
02/02 20:40 JA3ABC 599 TKHT 599C09AH C09 1 3.5 CW
02/02 20:44 JI3ABC/3 599 TKHT 599C09452 C09452 1 3.5 CW
```

```

:
02/02 20:51 JA3YAB 599 TKHT 599G08632 G08632 1 3.5 CW
02/03 13:30 JA3YAB 599 TKHT 599G08632 0 7 CW
02/03 13:34 JA3ABC 599 TKHT 599C09AH 0 7 CW
02/03 13:40 JA4ABC/3 599 TKHT 599C11HK 0 7 CW
;
02/03 15:00 JA3ABB/3 599 TKHT 599G08TT 0 7 CW
</LOGSHEET>

```

(誤った記入例1)

```

<CATEGORYCODE>035</CATEGORYCODE>
<CATEGORYNAME>府外局シングルオペ 3.5MHz</CATEGORYNAME>
<CALLSIGN>JH1●▲■</CALLSIGN>
<SCORE BAND=3.5MHz>14, 28, 14</SCORE>
<SCORE BAND=TOTAL>14, 28, 14</SCORE>
<TOTALSCORE>392</TOTALSCORE>

```

<COMMENTS></COMMENTS>

<LOGSHEET TYPE=HLTST7.6.0>

MM/DD HH:MM	CallSign	Rst	Sent	Rst Rcv	Multi	P	MHz	Mode
02/02 20:33	JA4ABC/3	599	TKHT	599C11HK	C11	1	3.5	CW
02/02 20:40	JA3ABC	599	TKHT	599C09AH	C09	1	3.5	CW
02/02 20:44	J13ABC/3	599	TKHT	599C09452	C09452	1	3.5	CW
:								
02/02 20:51	JA3YAB	599	TKHT	599G08632	G08632	1	3.5	CW
02/03 13:30	JA3YAB	599	TKHT	599G08632	G08632	1	7	CW
02/03 13:34	JA3ABC	599	TKHT	599C09AH	C09	1	7	CW
02/03 13:40	JA4ABC/3	599	TKHT	599C11HK	C11	1	7	CW
;								
02/03 15:00	JA3ABB/3	599	TKHT	599G08TT	G08	1	7	CW

</LOGSHEET>

コンテスト参戦記

— コンテスト参戦記編集にあたり —

今年も京都コンテスト入賞者から「入賞の秘訣とコンテストを楽しめるノウハウ」を伺い、来年以降の京都コンテスト参加者に「入賞できる運用方法」としてご参考にしていただければと思い上位入賞者に寄稿のご協力をお願いしました。寄稿頂いた局長様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

----- 以下回答です。 -----

■府内局シングルオペマルチバンドB部門 優勝 JJ2DWL/3 井上利一様

- ・コールサイン JJ2DWL/3
- ・使用機材 リグ:TS-590D、アンテナ:1.9/3.5MHz LW+ATU、7MHz 逆V DP、パソコン:Let's note CF-SX1
- ・なぜこの部門を選んだか 今年は日曜日午前に関西ハムシンポに参加するため、マルチバンドBで1.9～7MHzの3バンド参加一択でした。
- ・獲得目標 とにかくできるだけ楽しむ！
- ・改善,強化点 日曜午前中に中抜け(関西ハムシンポ)のため、昨年よりはグレードダウンの簡易装備でした。その分、気楽に肩の力が抜けてたのかもしれない ^^;
- ・コンテスト当日の行動 HF ローバンドのみと割り切っていたので、山や丘の上は基本的に回避。高速に程近く撤収が容易で、2日目もバッティングせずに

安心して運用場所を確保出来そうな所ということで、亀岡市の保津峡グラウンドの駐車場を選択。現地に夕方到着して、1日目はバーチカル+LWとATUをセットして準備完了、今回リグは久し振りにTS-590を使用しました。

- ・スタートから終了まで 開始時間の20時から3.5MHz、22時から1.9MHzと2バンド運用。ところがCONDXが悪いのか日が悪いのか、昨年比大幅ダウンの7割程度、126QSOで一旦CL、実質各1時間で終わってしまったような感じでした。納得いかないと思いつつも一旦ココで撤収、この後尼崎へ向かい翌朝から関西ハムシンポに参加。11時頃まで参加して、もう一度亀岡市へ戻ってきました。12時過ぎに保津峡グラウンドに戻って、今度は7MHzのダイポールを設置。コンビニ弁当で昼を済ませて13時から再度参戦開始です。



去年の反省を踏まえて 7MHzSSB からスタートしますが・・・CONDX 最悪で 20 分ほどランしてようやく 7 局、近距離が完全に skip していてダメでした。

CW へ QSY して何とかペースは回復するものの、全体的に局数伸びません。CW でランしながら SSB もチェックするものの、SSB は全く出来ず。最後まで CW でダラダラとラスト 1 時間に少し国内が回復するも大幅な上乘せはできず 7MHz は 98QSO で終了。

最終トータル 224QSO となりました。昨年より大幅ダウンでしたが、全般的な悪 CONDX と関西ハム シンポとのバッティング？で参加局が少なかったことにも助けられたかもしれません。僅差で 1 位をいただきました、各局ありがとうございました。

- ・反省点 反省どころか結果的には上出来すぎでした。
- ・次回参加の際のアドバイス 自分の場合、気合い入れすぎると大抵失敗するので、自然体で、程々に、というところでしょうか。各局 QSO ありがとうございました、またコンテスト委員の方々、運営お疲れ様でした。久しぶりに京都コンテストで入賞できました。また来年も楽しみながら参加出来たらと思います。ありがとうございました。

■府内局シングルオペ 1.9MHz 部門 1位 JF3PGW 林昭男 様

- ・コールサイン JF3PGW
- ・使用機材 リグ: FT450D 100W アンテナ: MICROVERT
パソコン:(LOG SOFT) CtestWin
- ・なぜこの部門を選んだか 1.9 はアンテナの制約でエントリーが少ないのでいわば穴場です。
- ・獲得目標 上位入賞
- ・改善, 強化点 アンテナの給電点のかさ上げ。風対策との匙加減。
- ・コンテスト当日の行動 いつものように晩酌
- ・スタートから終了まで 他のコンテストに比べてシングルバンドなら短時間で決着がつくので老人には楽です。
- ・反省点 特に思い出せません



- ・次回参加の際のアドバイス 他のバンド以上にこのバンドはアンテナが決め手です。前述したように敷地の関係で出られない局も多いと思いますが工夫次第で我が家のような 30 坪足らずの敷地でも何とか入賞のレベルまで食い込めますので是非トライしてください。地方コンテストの場合、1.9 は府内局(県内局)が少なく、府外局にとってみたら 5~6 局やったら終わりというフガイないコンテストになりがちです。是非、1.9 にもエントリーしてこの部門をもっと COMPETITIVE なものにしていただきたいと思えます。参考までに私の MICROVERT アンテナの写真を添付します。左が 1.9 の MICROVERT、右が HF のバーチカルです。この MICROVERT で 1.8 では 100W でヨーロッパロシアまで交信の実績があります。

■府内局シングルオペ 7MHz 部門 1位 JS3OSI 田中俊之 様

- ・コールサイン JS3OSI
- ・使用機材 リグ:IC-756Pro II アンテナ:VDP(NAGARA TV-41J) パソコン:Windows8.1 HAMLOG
- ・なぜこの部門を選んだか 当初は VU 部門で参加していたのですが、VU の局数が伸びず、7MHz はサービス(パイルを受ける)のつもりで QRV しました。前半のコンディションが悪かったのですが、後半に回復して局数も伸び、参加した部門の中で一番得点が高かったのでログ提出しました。
- ・獲得目標 1 分で1QSO できたら満足できると思い参加しました。
- ・コンテスト当日の行動 8 時から 144MHz、10 時から 50MHz、11 時から 1200MHz、13 時から 430MHz に出ましたが、コンテストの時間の最初だけでほとんど声がかからなくなりました。SSB、CW、FM と様々なモードにでましたがパッとせず集中が途切れて CQ もやめてしまう状況で、13 時 50 分に 430MHz から外れて、7MHz をワッチしました。7MHz もあまり聞こえず、バンドが空いていたので CQ 出し始めたのが 13 時 50 分過ぎでそこから 7MHz 参加になりました。
- ・スタートから終了まで 13 時 55 分に 7.082MHz で JR1QBA と QSO がスタートですが、その後コンディションが低下し、京都市内のローカル局か、6, 7, 8 エリアが中心で 30 分で 16 局しか QSO できず、途中 5 分くらい CQ の連続の時もありました。サイドのかぶりもあったので、14 時 25 分 7.102MHz に QSY しました。時間とともにコンディションも回復し始め 14 台後半には、1, 4 エリアも交信できるようになりました。15 時を過ぎると 1, 4 エリアが安定して交信でき、ときどき 2 エリア(静岡)ともできるようになりました。15 時 20 分あたりからコンディションも安定し、40 分で 49QSO と満足しました。最後は、JD1BIA から呼ばれ苦しいながら QSO、今まで小笠原を呼ぶことはあっても呼ばれたのは初めてでした。
- ・次回参加の際のアドバイス 今回のコンテストは 7MHz はコンディションがかなり悪く、ローカル局に聞いても CQ を連発することが多かったようです。途中参加とはいえ最後まで出たことが今回の入賞になりました。あきらめず最後まで参加することが大切も自分に言い聞かせています。

■府外局シングルオペマルチバンド A 部門 優勝 JA3GJQ 森下 等 様

- ・コールサイン JA3GJQ
- ・使用機材 IC-7600/ IC-7000 100W/50W 1.9MHZ.3.5MHZ 1/2DP 7MHZ-28MHZ TA-351-40 50MHZ 4ELE YAGI 144MHZ 12ELE YAGI 433MHZ 24ELE YAGI PC PC 操作はしていません。手書き・手打ちです。
- ・何故この部門を選んだのか V.U 帯が繋がりがり易いと思った。
- ・獲得目標 1 位でしょうか。
- ・改善強化点 現状維持
- ・コンテスト当時の行動 疲れないように、全身の力を抜いて背バックチェアに深くもたれて電鍵操作をしました。
- ・スタートから終了まで オールバンドなのでバンド切り替えが忙しい。
- ・反省点 失敗も成功も楽しんでやっていますので反省はしないです。
- ・次回のアドバイス 多くのコンテストに参加させて頂いていますが、常連さんが多数で今 1 つ盛り上がり

りに欠けるのかなと思っています。又、時代の進行で PC 操作の局長さんが多くなりました。PCは楽なのですが電鍵での楽しさを新しく参加される局長さんに広がればいいな。と思っています。

■府外局マルチバンドC部門 優勝 JA7LLL 及川寿雄 様

- ・コールサイン: JA7LLL
- ・使用機材 リグ: TS-950 アンテナ: タワードライブ(160m)、逆 V(80m)、DP(40m)
パソコン: Windows10, ログインソフト: RTCL
- ・なぜこの部門を選んだか 東北から見て、京都との交信はローバンドが適している
- ・準備 バンドのタイムテーブルの確認
- ・スタートから終了まで 空いている時間で QRV
- ・次回参加の際のアドバイス
時間ごとに QRV のバンドが決められてるユニークなコンテストであり、楽しみながら参加します。

■府外局マルチオペマルチバンド部門優勝 JA2YGP 刈谷工業高校アマチュア無線クラブ 顧問 JF2RLD 野村 様

- ・コールサイン JA2YGP
- ・使用機材 リグ: FT-107, TS-180, TS-670, TS-700, IC-351 アンテナ: DP, GP パソコン: 紙ログで記入、
後日 ZLOG へ入力(部活動なので入力を平日の活動としています)
- ・なぜこの部門を選んだか 部活動なので社団局として出たい
- ・獲得目標 入賞
- ・準備 特になし。部室の常設設備を使用。
- ・コンテスト当日の行動 都合により日曜屋しか出られませんでした。7メガはここ愛知から京都は
スキップしてしまい、全くできませんでした。50以上も全然聞こえず、14と21の CW で1局ずつしかで
きず、参加して8年くらいになります。最低の得点でした。
- ・スタートから終了まで 上記通り、フォーンでは全くできませんでした。
- ・反省点 2エリアからは7メガのスキップは数年続くかもしれず、厳しいです。
- ・次回参加の際のアドバイス 1.9と3.5を土曜夜にやらねばダメです。

■府外局シングルオペ1.9MHz部門 1位 JAφDVE 平野 正紀 様

- ・コールサイン JAφDVE
- ・参加部門 府外シングルオペ 1.9MHz部門
- ・使用機材 リグ: IC-7000 & IC756 アンテナ: 1.9MHz スローパー, 3.5-7MHz
WDP, 14-28MHz NAGARA TM-371, 50MHz 5Ele YAGI, 144MHz 10Elex4
YAGI, 430-1200MHz GP
パソコン: 自作 GIGABYTE 64BIT, WINDOWS10 (CTESTWIN,
USBIF4CW V3.0)
- ・なぜこの部門を選んだか
京都コンテストの実施時期は、私の地域ですとハイバンドとV-UHFバンド
では難があり、ローバンドだけの参加になります。一応各ローバンドで聞こ
えた局とナンバー交換をしますが、京都の近隣地域参加局のマルチバンド



- 点数には遥かに及びませんから、その時に参加した各バンドの中から上位に行けそうな帯部門を選択してログを提出し、それ以外はチェックログで送付しています。今回は、1.9MHz 部門です。
- ・獲得目標 2～3 年前からのコンテスト結果点数を参考にして、入賞が可能な点数を目標にしています。
 - ・準備 ロガー(CTESTWIN)のMDファイルが最新のものか確認。
 - ・コンテスト当日の行動 開始時間の確認。
 - ・スタートから終了まで 場当たり聞こえた局のみひたすらコール。
 - ・反省点 いつも思うことで、もっと開催県の局が多数参加してくれないものかと。
 - ・次回参加の際のアドバイス 参加者が少ない部門なので入賞の可能性は高いです。

■府外局シングルオペ 1.9/3.5MHz 部門 2位/1位 JE3VRJ 半田 守 様

- ・コールサイン JE3VRJ
- ・使用機材 リグ: FT-1021X アンテナ: G5RV(160m は無理やり使用)
パソコン: Pentium Dual Core 2.94GHz/Windows7
- ・なぜこの部門を選んだか
日曜日は、関西ハムシンポジウムがあるため、参加可能な 1 日目のみ参加となりました。
- ・獲得目標 特に目標は設定していません。
- ・改善, 強化点
改善するほどものはありませんが、CW スキルは少しずつになりますが、向上しているはずです。
- ・準備 ZLOG のスーパーチェックを作成する程度です。来年はデータが少なく心配ですが。
- ・コンテスト当日の行動 スタート時間が少し早い目のため、夕方早く食事等をとりました。
- ・スタートから終了まで
80m は SSB の方は少なく、不得意な CW から始まりました。ノイズも多かったのですが、丹念にワッチするように心掛けました。160m は以外と良く聞こえたのですが、何せ飛びません・・・何度呼んでも届かない方がいらっしゃいましたが、最後の方で届きました。あきらめないのが良かったのかもしれない。
- ・反省点
160m/80m 共に昨年の実績よりダウンしています。80m の SSB で取りこぼしがあったのでは？と反省しています。
- ・次回参加の際のアドバイス
府外局の立場から見ると、コンテストに参加した府内局と全部交信するのが目標になります。交信数(得点) = 府内局数 - 未交信数
当局は、未交信数を少なくするように、ワッチを重視するような運用を行っています。

■府外局シングルオペ 3.5MHz 部門 2位 JR6CSY 山口 孝治 様

- ・コールサイン JR6CSY
- ・使用機材 リグ: TS-990S アンテナ: 3 バンドトラップダイポール(1.9～7MHz) パソコン: 12.1 インチ ノートパソコン(Windows 7)
- ・なぜこの部門を選んだか 特に理由はありますが、夜は 3.5MHz、昼は 7MHz の 2 部門に参加すると決めていました。
- ・改善, 強化点 ロングワイヤー+ATU → ダイポールへ設備強化?(汗)
- ・準備 前日の昼間に上記ダイポールを仮設で上げた。(汗)

- ・コンテスト当日の行動 いつもと変わらず。
- ・スタートから終了まで 3.5MHz も 7MHz も開始から 1~2 時間もやったらこの成績でした。
- ・反省点 アンテナをもっと高くしたい。(現状無理)
- ・次回参加の際のアドバイス 私なんかのアドバイスじゃ参考にならないと思いますが、しいて言わせてもらえば気合いと根性ですかね。(笑)



移動用のポールを使い仮設で上げた
3 バンドトラップダイポール(8mH)

■府外局シングルオペ 7MHz 部門 1 位 JJ1HFX 由利 優 様

- ・コールサイン:JJ1HFX
- ・使用機材 リグ:FT-1021X アンテナ:1/2λ DP 10mH パソコン:Windows10 Turbo HAM LOG
- ・なぜこの部門を選んだか お空のコンディションが悪くスキップ状態の日が続いていましたので、聞こえるバンドしか出れませんでした。
- ・獲得目標 目標はなく、とにかく必死になってバンド内をワッチしました。
- ・改善, 強化点 初めての参加なので特になし。
- ・コンテスト当日の行動 聞こえてこないかあ・・・ワッチ
- ・スタートから終了まで ひたすらワッチ。
- ・反省点 コンテストナンバーが理解(聞き取れない)できなくて、各局さんにご迷惑をおかけしました。府外局としてCQを出せるようになりたいです。
- ・次回参加の際のアドバイス 冬場のコンディションにはかなわないので、諦めないで楽しみましょう。コンテストナンバーがちょっと複雑で初めて参加するには聞き取りにくかったです。

■府外局シングルオペ 50MHz 部門 1 位 JG3WDN 和泉 陽一 様

- ・コールサイン JG3WDN
- ・使用機材 リグ:TS-590 アンテナ:八木アンテナ パソコン:ノートPC+CTESTWIN
- ・なぜこの部門を選んだか いつもコンテストの参加部門選択では悩めます。と言うほど大げさなものではないのですが、一応考えてから決めることにしています。
 - (1)たくさん QSO できる部門を選んで楽しむか、
 - (2)入賞の可能性がある部門を選んで賞状を狙うか
 どちらもアリだと思います。

今回は(2)入賞可能性のある部門、ということで 50MHz を選びました。比較的良好なアンテナがあるバンドでかつ京都に隣接する大阪からの運用だからです。これまでコンテストで入賞したことが無い方や、これからコンテストに挑戦してみようという方は、「どうすれば入賞できるか」を考えて参加カテゴリーを決めてみてはいかがでしょうか。意外に簡単に入賞できて驚くと同時に、「次回も参加しよう」という気持ちになること請負いです。
- ・獲得目標 先に述べました通り、入賞を目標に参加しました。ところがこれが意外に曲者で、入賞を目標に参加部門を決めたのはいいのですが、ローカルコンテストの場合、入賞レベルであっても QSO 数が 10~20 局、時には一桁などということも珍しくないのです。忍耐との戦いになります。とはいうものの楽しむことも大事です。今回は参加バンド以外にも QRV するなどして楽しませていただきました。(50MHz だけですと参加局数も限られますので、7MHz にも QRV しました)
- ・改善, 強化点 とくに改善、強化は行わなかったのですが、退屈しないようにテレビを用意しました(「消音」にて使用)。コーヒーを飲みながら、読書をしながら、ネットサーフィンをしながら、など工夫

(?)を凝らしてできるだけ長くリグの前に座り続けることが肝要です。

- ・準備 頻繁にコンテストに参加しますし、常置場所からの運用ですので、とくに設備に関して準備は必要としませんでした。参加部門を決めるために昨年、一昨年の結果に一通り目を通しました。また、いつものことですが、規約は注意深く読んでおきます。ルール変更などを知らないで失敗することを防ぐためです。これ、大事です。
- ・コンテスト当日の行動 コンテスト当日も特別な行動はありません。普段どおりの行動ですが、コンテスト中に邪魔が入らないよう、家族には無線で遊んでいる旨を事前にお知らせしておきます。お知らせしておくことで、放って置いてくれますし、用事があるときでも部屋をノックしてくれます。
- ・スタートから終了まで S&P、CQ、S&P、CQ の繰り返しです。途中で退屈になっても諦めないように今回はテレビを用意しておきました。使用アンテナには指向性がありますが、京都方向を向けたまま動かすこともなく、S&P、CQ の単純作業の繰り返しでしたが入賞という目標があるので、コンテスト終了まで粘りました。なお、PC でロギングするので不測の事態でデータが失われないよう頻繁にデータバックアップを行いました。
- ・反省点 本来ですとアンテナや周辺機器をグレードアップして、その成果をコンテストで確認すればよいのですが、忙しさを言い訳にして最近では「いつもの設備」でコンテストに参加してしまうのが反省点です。ちょっとした工夫でもいいので、進歩していきたいものです。
- ・次回参加の際のアドバイス 京都府内に移動して楽しむもよし、京都を臨む場所に移動して楽しむもよし。過去の結果を把握した上で入賞をイメージして戦術を練ってみてください。意外に入賞が難しいことを経験できることでしょう。
- ・最後に 今回も当コンテストに参加させていただき楽しませていただきました。コンテスト主催スタッフの皆様におかれましては、規約制定、事前告知、結果集計、賞状発送などなど、色々のご苦勞、お気遣いなどあろうかと思えます。永きに亘ってコンテストを開催し続けていただいていることに感謝申し上げます。また、コンテストレビュー執筆の機会も与えていただきありがとうございます。本稿が今後の参加者の方(とくにコンテストに参加し始めて日の浅い方)のご参考になれば幸いです。

■府外局シングルオペ 144MHz 部門 1位 JN3ANO 南 賢一 様

- ・コールサイン JN3ANO
- ・使用機材 リグ:144MHz IC-9100、アンテナ:GP パソコン:パソコンとZLOG、USB インターフェース
- ・なぜこの部門を選んだか 日曜日は午前中に参加でき、自局の設備から考えて、できるだけ多くの府内局と交信できるよう選びました。
- ・獲得目標 目標は決めず、できるだけ多くの府内局と交信できるようにしました。
- ・準備 マルチプレイヤーが複雑なので、規約を手元に置きました。
- ・コンテスト当日の行動 前日の晩は 3.5MHz に参加しました。自宅から運用するので、毎日の行動で、朝から犬の散歩を終え、パソコンを立ち上げて準備しました。
- ・スタートから終了まで 府外局は、府内局をできるだけ多く呼ばないといけないので、モードや周波数をスキャンし、ひたすらワッチアンドコールに努めました。
- ・反省点 本年は過去の得点に比べずごく低得点でしたので、入賞は望外の結果で驚いています。7月以降の2回の台風で GP が傾いているので修理しなければと思っています。次回も参加させていただき、多くの府内局と交信したいと思います。
- ・次回参加の際のアドバイス アドバイスは特にありません。私は、国内各コンテストには許す限り出ていますが、自局の設備からすると入賞は至難のわざで、参加することを楽しんでます。無線は大好きですので、体力の続く限り、続けたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

■府外局シングルオペ 430MHz 部門 1位 JH3DYD 中 恒夫 様

- ・コールサイン JH3DYD
- ・使用機材 リグ: IC-9100、 アンテナ: 12mH,GP,11EL 八木
パソコン: Windows.7
- ・獲得目標 出来るだけ多くの局とQSO
- ・コンテスト当日の行動 いつもどおりに
- ・スタートから終了まで 時間のチェックしながら、QSO
- ・反省点 アンテナをスタックにすれば良かったかも
- ・次回参加の際のアドバイス 気楽に参加すること



■府外局シングルオペ 1200MHz 部門 1位 JA3IUB 中井 訓二 様

- ・コールサイン JA3IUB
- ・使用機材 リグ: IC-1201 アンテナ: 10Mh GP パソコン: DELL INSPILON 1545
- ・なぜこの部門を選んだか
運用する時間が丁度良い時間帯なのでいつも21MH、28MHで参加していましたが、今回はこの時間しか参加できなかったのこの部門を選びました。
- ・獲得目標 特別に目標は決めてはおりません。
- ・改善, 強化点 特別に決めてはおりません。
- ・準備 特別に何もしてはおりません。
- ・コンテスト当日の行動 特別に何もしてはおりません。
- ・スタートから終了まで 時間が短いので特別に何もしてはおりません。
- ・反省点 いつも参加するだけでマンネリ化している状態です。
- ・次回参加の際のアドバイス 特別に何もありません。ありません。

■府外局 SWL マルチバンド部門 1位 JA7AMK/SWL 伊藤 清郎 様

- ・コールサイン JA7AMK
- ・使用機材 リグ: FT-1011 アンテナ: ワイヤードイポール パソコン: 運用中は不使用
- ・なぜこの部門を選んだか 体調不良ということもあり負担の軽い部門を選びました。
- ・獲得目標 特になく体調と相談しながら行き当たりばったりの態で。
- ・改善, 強化点 叶わぬことですが体調の一点のみです
- ・準備 ルールの確認のみでした。
- ・コンテスト当日の行動 移動運用したわけでもなく忘れてしまい申し訳ございません。
- ・スタートから終了まで 上記同様であります
- ・反省点 こういうことになるのでしたらコンテスト終了直後かっこいいまとめをしておくべきでした。
- ・次回参加の際のアドバイス なにをやるにも体調一番 主催さんの内容分析力に敬意を表し熱い気持ちで、中島みゆきです。

意見・コメント

サマリーシートの意見欄に記入されたコメントを収録しました。編集部の判断で伏字の使用、単純なケアレスミスの修正、語句の統一を行なっています。また、複数部門に参加されていて、ほぼ同じ内容のものについてはそのうちの1つを掲載しました。結果、コンテストレビューおよび参加証の送付希望、またSASE同封などについての記述は省略しました。次回も京都コンテストに参加していただくとともに、サマリーシートに御意見や御感想をお書き下さい。

■府内局シングルオペマルチバンド A 部門

JR2MIO/3

今年も何とか参加できましたが、コンディションが悪かったうえ、関西ハムシンポジウムが日曜日に開催されたので、昨年よりQSO数が激減してしまいました。

JA3UWB

やはりCONDXと参加局数につきますね hihi!

JM3DUR

お疲れさまです。コンディションが悪いためローバンドは、ますます聞こえず局数が伸びませんでした。

■府内局マルチオペマルチバンド部門

JA3YQD

運用者：JF3PLF(US エクストラ級)、JJ2PDR(2アマ)プアなコンディションと関西ハムシンポ同日開催のダブルショックで、近年にない低調なスコアになってしまいました。

■府内局シングルオペ 1.9MHz 部門

JF3PGW

今年こそはと意気込みましたが昨年よりスコアを落としました、7メガの cndx も悪く全体として残念ながら低調に終わってしまいました。来年に期待します。

JR3FOS

寒い中アンテナを建てて QRV しました。

JF4XHR/3

今年も全長 4.5m のペランダアンテナで 1.9MHz 運用しました。こんな短くても関東から九州まで届くから不思議です Hi

■府内局シングルオペ 3.5MHz 部門

JK3LZI

コンテスト参加局がずいぶん少なくなりました。さびしいです。今回は雪に悩まされることなく、コンテストができたことを嬉しく思います。雪国はいろいろとたいへんです。

JH3BUM

他の関西のイベントと重なり日曜日にQRV出来なかった

■府内局シングルオペ 7MHz 部門

JK3LZI

7MHz はコンディションが悪く近距離がほとんど聞こえず、大変でした。でも今回は小笠原からコールがありびっくりしました。人と人の出会いは素敵ですネ。マルチは伸び悩みました。残念。

JR3FOS

近距離スキップで京都府内の局とあまり QSO できませんでした

JA3YOF

集計ご苦労様です。二度目の参加ですが、前回よりも悪い結果となってしまいました。しかし、良い訓練に。この経験を今後活かしたいです。次回もよろしく願います

JI3OGI

CW オンリーで参加しました。下手なおペで迷惑をお掛けしました。

■府内局シングルオペ 21MHz 部門

JL3YGS/3

今回は会社のクラブコールで参加しました。最初は雪でどうなることかと 思いましたがなんとか最後までがんばりました。

JJ3OGI

CW オンリーで参加しました。下手なオペでご迷惑をお掛けしました。

■府内局シングルオペ 50 MHz 部門

JM3GVH/3

山での無線、山のハム大国、王様女王様ランキング(ヤマラン SOTA マルチランキング)に挑戦しながら京都コンテストに参加しました。

■府内局シングルオペ 144 MHz 部門

JM3GVH/3

山での無線、山のハム大国、王様女王様ランキング(ヤマラン SOTA マルチランキング)に挑戦しながら京都コンテストに参加しました。

■府内局シングルオペ 430 MHz 部門

JL3YGS/3

今回は会社のクラブコールで参加しました。最初は雪でどうなることかと 思いましたがなんとか最後までがんばりました。

JF3GXQ

初めて書類を提出しました。途中まで電子ログで作成しましたが、1局で2マルチのカウントできる場合の処理(ログシートと点数合計の処理)がよくわからなかったのも、紙での提出としました。そのあたりの処理方法をもう少しわかりやすく示していただければ、と考えます。

JJ3WWZ

4日当日に関西ハムシンポジウムが開催された影響でしょうか参加局が非常に少なく寂しいコンテストになりましたね。

■府内局シングルオペ 1200 MHz 部門

JN1GYM/3

長距離の移動のため、数日の間、天気の確認が大変です。(特に今年は)でも楽しい！！

■府外局マルチオペマルチバンド部門

JA2YGP

日曜しか出なかったため、7メガではスキップして京都は入らず、50以上は1局弱く聞こえたのみで全く QSO できませんでした。土曜日ですが、高校生以下のクラブ局では夜20時開始では参加できません。18時から3.5、20時から1.9にしてもらえると高校生でも参加しやすいのですが。

■府外局シングルオペマルチバンド A 部門

JA7BEW

ハイバンド開けず残念でした

JF2FIU

集計審査お疲れ様です。また、QSO頂きました京都県内各局ありがとうございました。

JA3ZK

1935年2月22日生まれ

JE3ECD

次回もがんばりたいと思います。

JK8PBO

係りの皆様、集計お疲れ様です。交信いただいた各局有難うございました。ラスト1時間はお相手がいなくて眠くなりました。笑

■府外局シングルオペマルチバンド B 部門

JG1CFO

QSOありがとうございました。ログ集計ご苦労様です。

JR1LEV

昨年よりもスコアアップを狙ったが駄目でした、相変わらずのコンディションで戦闘意欲も出ませんね。次回もよろしくお願いします。

JA4RQO

TU。また来年、CU！ (^_^);

JK2BAP

集計、お疲れさまです。コンディション不良で結果が今年の半分も届かず、当地は蚊帳の外でした。

JE6TUP

CONDX は今一つでしたが楽しめました。

JH4JUK

2 日目はローカル行事で後半の部分参加になりましたが、あまりコンディションよくなかった。

JE7SRK

時間を分けられるのはよいと思います。来年もよろしくお願いします

JA8FET

14MHzより上のバンドが使えず局数が増えなかった。

JN1VFF

とても楽しく参加出来ました。記念品希望。

JH4EYD

スノーノイズが激しく、殆どが NG でした。数局ですいません。今年も宜しくをお願いします。

7N4KQM

たさんの局と交信できました。ありがとうございました。

JM1EKM

得点計算が不安です。今年も無事参加させていただきました。

JA0ITY

参加局少なく残念でした。

JH0PNM

今年も参加しました。

JA0IND/1

集計ご苦労様です。

JR5PPN

今年もお世話になります 少ない交信局数ですがログを提出します 参加各局お世話になりました 次回もよろしくお願いします

JP3AWA

バンド別の開催時間は VY FB だと感じました。

JE7SRK

得点、マルチの計算が難しいですね。来年もよろしくお願いします。

■府外局シングルオペマルチバンド C 部門**JA7LLL**

枯れ木も山の賑わいで、ログ提出します。

JM3URG

FT991M,GP(CP-6S)+2BandGP(X300)

■府外局シングルオペ 1.9MHz 部門**JG6JAV**

弊局設備が貧弱なせいかもしれないけれども京都府内局が少ないのが残念。

JA2QVP

集計ご苦労様です。参加局が少なかったですね。

JA3OEA

・集計ありがとうございます。・1.9MHzはノイズが多く、コンディションも良くありませんでした。

JQ1EPD/1

次回もがんばりたいと思います。

JA1DFO

コンディションが悪く、ほとんど聞こえませんでした。また来年に期待します。

JR2NTC

集計作業、ご苦労様です。7MHz の 1 交信はチェックログ扱いにしてください

■府外局シングルオペ 3.5MHz 部門

JR6CSY

このログの 7MHzQSO 分はチェックログです。ローバンドのコンディションはまあまあだったようですが、府内局が少なかったような気がします。

JN3ANO

各局 交信ありがとうございました。

JE1NVD

集計、ご苦労様です。

JA3VOV

ログチェックご苦労様です。京都府内局の参加者が少ないようです。それで、京都支部役員局や登録クラブの参加を促進していただければ有難いです。

JE1PMQ

お世話になります。2時間フル参加できました。

JR2NTC

集計作業、ご苦労様です。

JH2FOR

コンディション最悪で最初 1 時間程度は当地から入感ありましたが その後は全く聞こえなくなりました。コンテスト NO がややこしいのももう少し簡略していただきたいと思えます

JH1MTR/4

CONDX は昨年と同じく最悪。

JK3NSD

初日だけの参加になりました。

JE7ENK/7

楽しむことができました。

JE6KFO

京都のみなさん交信ありがとうございました。

JJ1XQU

我が家の設備では 3.5MIは聞こえて来ませんでした。少ないけど申請します

JK1DMT

今年も短時間ですが、3.5MHzCWのみで参加させていただきました。

JA7SLK

フォーマット(R1.0)で再提出いたします。差し替え願います。

JA9XAT

久しぶりに乗り込もうと意気込んでいましたが、大雪には勝てませんでした。

JA0ABK

3.5MHzにもっと府内局が参加してほしかった。

JA1DFO

コンディションが悪く、ほとんど聞こえませんでした。また来年に期待します。

JH4EMK

交信局は少ないですが書類を提出します。コンテストは 3 年ぶりの参加でした。

JK1TCV

短時間ですが楽しめました。

JR5PPN

お世話になります。1局ですがログを提出します。お手数をおかけしますがよろしく願います。

■府外局シングルオペ 7MHz 部門

JH7OUW

当局では途中より雑音がひどくなり悩まされましたが、楽しむことが出来ました。

JM6EKY

7MHz が 13 時からと言うのはいいですね。ゆっくり昼食をとることが出来ます。

JR6CSY

このログの 3.5MHzQSO 分はチェックログです。ローバンドのコンディションはまあまあだったようですが、府内局が少なかったような気がします。

JE1NVD

集計、ご苦労様です。

JG2MIZ

7MHzコンディションが悪く少しだけ楽しめました。次回もがんばりたいと思えます。

JJ1XQU

集計ご苦労様です。終盤頃になってコンディションが上がって来ました。

JH7OYV

コンディションが悪く青森市に入感状況が良くなかった！

JI1IIF

京都コンテストをさらに盛り上げるためには、来年は”特別局 8N3KT”をボーナス局(20点)として開設していただくと楽しいと思います。

JR1UJX

アバマンハムです。5W+ベランダに仮設したワイヤーで参加しました。

JG1JEO

短い時間でしたが参加出来ました。。

JE1EQS

次回も楽しみにしています。

JI1NZA

局免許年月日: 2015年8月25日

JH6WKF

遊ばせて頂きました。

JA1JUR

今年も参加できてよかったです。よろしく願い致します。

JK1BII

来年も参加したいです。

JL4OND

次回もがんばりたいと思います。

JM4KHC/7

局数がのびませんでした。

JI6DMN

いつも紙ログですみません。

JD1BIA

コンテストレビューが楽しみです。

JI1LHT

QSBのタイミングを見計らいながら、何とか昨年並みの結果となりました。念のため、JARL R1.0形式で提出します。集計、よろしく願い致します。

JK1IRH

次回もがんばりたいと思います。

JR0BQD

短時間でしたが、府内局も多く楽しませていただきました。

JS1MBH

京都各局 TNX.

JA8DHV

僅かな時間の参加となりました。

JA1XWD

コンディションよくありませんでしたが数局とナンバー交換できました。よろしく願い致します。

JH1VIX

どうもありがとうございました。少ないですが、よろしく願い致します。

JH0ROS/1

次回もがんばりたいと思います。

JI1TSH

集計作業ご苦労様です。

JA8IBU

30分しか参加できませんでした。

JA0QD/1

コンディションは良好だったが、日曜日の午後、7MHzは17時まで欲しい。

JA9XAT

乗り込みしている各局の信号を聞いているとムズムズしてきましたが、今回ばかりはあきらめました。

JA2QVP

集計ご苦労様です。サービス程度の参加でした。

J11TIQ

集計作業お疲れ様です。少しだけの参加でしたが、QSO していただきました各局ありがとうございました。次回もぜひ参加したいと思います。

JH8CLG/7

次回もがんばりたいと思います。

JF2KWM

集計ご苦勞様です。コンディションが悪かったのか全バンド全然聞こえませんでした。

7N1XHQ

コンディションが悪かったのか、いつも聞こえている3エリアが全然聞こえなかったです・・・。

JA8JTR

参加局が少なくコンディションも悪く残念でした。

JA6JKE

府内局の皆さん、ありがとうございました。

■府外局シングルオペ 14 MHz 部門

JJ5LLP

コンディションがあまり良くなく、苦しみましたが楽しみました。結果の送付を宜しくお願い致します。

■府外局シングルオペ 21MHz 部門

JR3AAZ

集計お世話になります。今年も、1.9 と 3.5 にも参加させていただきましたが、今年 は、時間制のお陰で多くの方が、HIBAND に上がって来て頂いたので、大好きな21と 28で エントリーさせていただきます。KT 各局 TNXs、

JA3MIB

楽しませていただきました。が、府内へ移動したらもっと楽しめたはず。

JA3OEA

・集計ありがとうございます。

JR2NRP

短時間での京都コンテストを楽しく参加させて頂きました。

■府外局シングルオペ 28MHz 部門

JR3AAZ

今年も、3. 5にも参加させていただきましたが、得点の多い21と28で エントリーさせていただきます。KT各局QSO有難うございました。

JA3XOG

電信部門が欲しいですね。

JA3MIB

楽しませていただきました。来年は府内へ。

■府外局シングルオペ 50MHz 部門

JE2WLD

次回もがんばりたいと思います。

JO3RUL

ノイズが続いて電波状態も良くなかった。それに加えて府内局自体が少なかったようで、今回は盛り上がりにも欠けました。残念！

JA5SQH/5

残念！雪が積もって、400m 地点までしか上れなかったです。

■府外局シングルオペ 144MHz 部門

JN3ANO

各局 交信ありがとうございました。

JR2NRP

短時間での京都コンテストを楽しく参加させて頂きました。

JO3RUL

2/4 は、今回は尼崎市での関西ハムシンポジウムと重なっており、京都の皆さんもお出かけのようで、いつもよりも参加局が少ない印象でした。もしそうであればコンテスト日の設定がまずかったですね。いつもはもう少し府内からコンテスト、コンテストと聞こえてきたけど。

■府外局シングルオペ 430MHz 部門

JH4FUF

当日関西ハムシンポジウムに出掛けたので、ARIC からのハンディ機運用でした。集計ご苦労様です。

JN3GKF

同日開催の 2018 関西ハムシンポジウムと日程が競合したせいなのか、参加局が前年よりも少ない印象でした。

■府外局シングルオペ 1200 MHz 部門

JA3IUB

今年は初めて1200MHzの周波数で参加しました。約30分の参加でした。呼んで頂いているのは判るのですが呼び出し符号が聞き取れず申し訳ありませんでした。

■府外局SWL部門

JA7AMK/SWL

体調不良につきSWLで参加です。

JA1-22825

参加できてうれしく思います。

JA4-37294

両日ともにコンディションが悪くログの提出をやめよう思いましたが、提出します。

JA8-3339/7

短い時間の参加でしたが、京都府内局の電波が仙台まで届いていることを確認できました。* 第 2 マルチの計算が反映されないため、総得点には手動で計算して記載しています。

編集後記

第 62 回京都コンテストのコンテストレビューいかがでしたでしょうか。今年のコンテストも去年と同様、天候には比較的恵まれたようで、移動局も前年に比べ増加しました。しかしながら、電波伝搬のコンディションの悪さや、他の関西地域で開催されたイベント等により、ログ提出局が府内外含め、残念ながら 50 局以上も減少する結果となりました。第 63 回はぜひとも多くの方に参加いただきたいと思います。

コンテスト参戦記ではコンテスト入賞者によるコンテスト参加時の貴重なノウハウ等を寄稿いただき、「こうすれば、あなたもコンテストに入賞できる(かも?)」といった視点で、多くの方々に入賞の秘訣を語っていただきました。寄稿頂きました各局、ご協力ありがとうございました。紙面をお借りして御礼申し上げます。

このコンテストレビューが、次回の第63回京都コンテストに参加される方々の一助になることを願っています。また、ご提出頂きましたログのコメント等、皆様から頂いたご意見をもとに来年はさらにコンテストを楽しんでいただけるよう規約変更を含め、検討していきたいと思えます。

来年の京都コンテストでお会いできることを楽しみにしています。

第62回京都コンテスト コンテストレビュー

発行：JARL 京都府支部, JARL 京都クラブ

(kt-testqa@ja3yaq.ampr.org)

発行日：2018 年 10 月 (Ver. 1)

編集者：J I 6 D U E 野原 英則

J A 4 E G E 錦織 克夫